

堆積物の微細形態分析

現地調査では、遺構や地層の形成および埋没過程を記載することが必要である。遺跡では、自然の営力だけでなく、人為的営力も合わさった自然・人為の複合的な営力で地層が形成されていくことが多い。薄い地層内において、自然層と人為層、その複合層が複雑に堆積していることも遺跡ではよく見られる。このような場合、肉眼観察だけでは、各層の状態について十分に記載することが出来ない場合も多く、また、堆積や土壌構造も観察しづらいのが実情である。特にそのような場合には、堆積物や土壌について不攪乱試料を採取して、軟X線写真撮影や土壌薄片を作成し、それらをコンピューター上に取り込んで画像解析などを行い、より細部の構造について記載と観察を実施する。これらの情報を現地での観察結果と併せ、遺跡の形成過程について検討を行う。当社では、これまで、水田や畠跡や竪穴住居跡などの遺構についての分析を実施し、成果を挙げている。



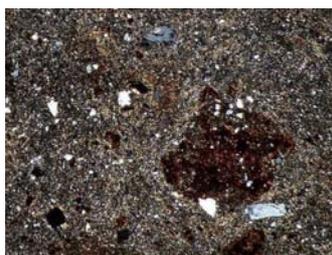
断面写真



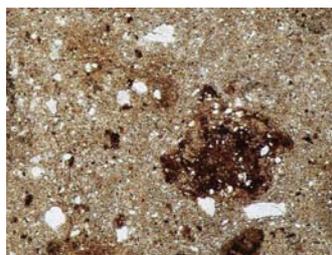
軟X線写真



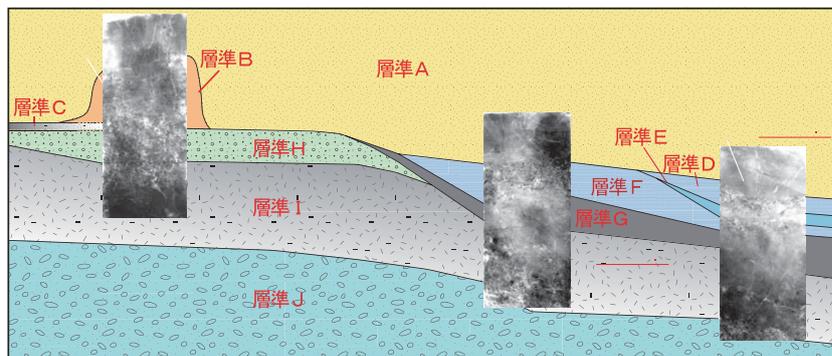
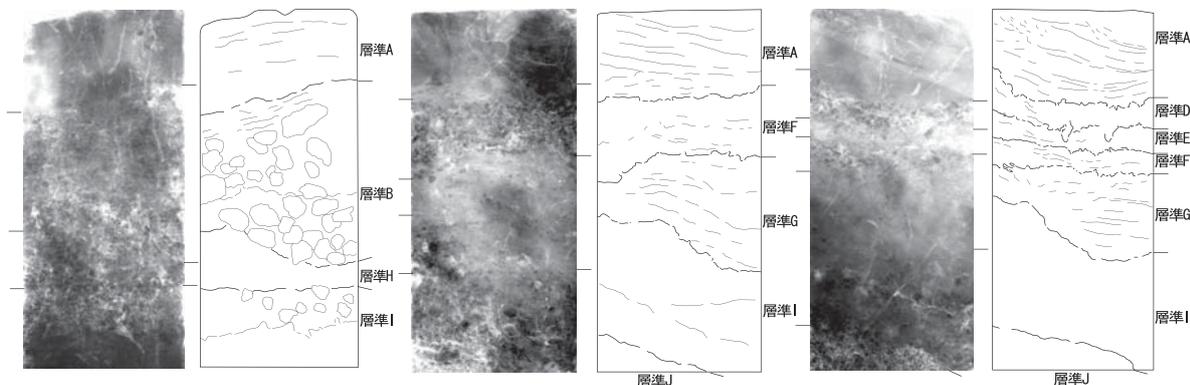
土壌薄片写真



土壌薄片写真
直交ニコル



土壌薄片写真
開放ニコル



堆積物微細構造から
推定される堆積環境

